

飯能・秩父研修で学習・仕事意欲高まる

木と建築を学び、研修生と講師・指導員が交流・親睦



第19期生は、5月23・24日に飯能・秩父宿泊研修を行いました。

生、講師・指導員、事務局28人が参加しました。

19期生・講師・指導員等総勢28

カレッジ通信

発行
東京建築カレッジ

豊島区池袋
1-8-6

☎5950-1771

全建設連東京都連会
第28回青年技能競技大会
とき 8月3日(日)
ところ 多摩職業開発
センター府中校
■選手募集中!



構造力学、設計製図学

18期生は高度訓練

研修の目的は、①育林・製材・設計・施工を通じて建築の在り方を学ぶ。②建築カレッジを支える講師団や研修生相互の交流・親睦を図る。③これらを通じて学習と仕事への意欲をさらに高める。としています。

研修では、山中棟梁が施工した地元の木材を使った丸太の建物「大滝資料館」の見学や千島元大滝村長から講義を受け、秩父の歴史と林業を学習しました。

19期生は、この研修を通じてより一層勉学と仕事に励む確信を得ました。

18期生は、5月に入って型枠・鉄筋実習を行いました。グループごとに作業を行い、「鉄筋を組むのが難しかった」「型枠大工の大変さが分かった」などの感想が寄せられます。



これが終わると、構造力学演習や建築設計製図に入りました。「いよいよ実践的な構造力学の勉強が始まり、普段の仕事と比べてどうかと考える勉強します」「この授業は結構楽しい。型破りな家の意見交換とか面白かった」。

第37回住宅デー成功を

研修生に以下の呼びかけを行っています。
みなさん、近くの住宅デー会場に「明るく、楽しく、元気よく」組合の仲間と一緒に参加しましょう。

今回も住宅デー会場に顔を出し、組合の方々に「元気よくあいさつ」しましょう。

参加することで、「建築カレッジここにあり」と東京建築カレッジを大きくアピールしましょう。

訴え

20期生の募集がスタートしています。すでに各支部にはポスターとリーフレットが届いていると思いますが、ポスターは支部事務所や分会センターに貼り出して、リーフレットは事業所訪問や若手世代との交流などを活用して、宣伝効果を大いに高めても

実践的な勉強が始まりこれから高度な技術を学ぶ訓練で先が楽しみと思える授業でした。
6月は住宅デーと林業実習で下草刈り体験が行われます。